



福井県社会福祉協議会 アクションレポート

令和3年12月3日 No.5

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 総務企画課
〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22
TEL 0776-24-2339 / FAX 0776-24-8941 / E-mail somu@f-shakyo.or.jp

このアクションレポートは、本会の主な事業等の進捗を定期的にお知らせするために、役員および関係機関向けに発行させていただくものです。

今月号の内容

- 1 「つなぐ福幸メッセ 2021」
作品展示・公開
- 2 ふくいチャリティー・
アート展開催案内
- 3 第68回福井県社会福祉
大会開催
- 4 「ひきこもり支援者セミ
ナー」開催
- 5 福井 DWAT 発足
- 6 JC 福井ブロック協議会
と災害時協力協定を締結
- 7 保育のお仕事職場説明・
面談会開催
- 8 コロナ禍の生活福祉資金
特例貸付の状況

「つなぐ福幸メッセ 2021」作品を展示・公開中



本会では、「『コロナ禍を生きる、支える』みんなのエール」をテーマに、福祉現場や活動における「コロナ禍の心の支えになった出来事」等のエピソードを募集し、総数56点の応募がありました。

この応募のあった全作品の移動型展示会を、「つなぐ福幸メッセ2021」と題して、11月1日（月）からの県社会福祉セ

ンターを皮切りに、12月20日（月）まで県内各所を移動しながら行っています。また、同時に本会ホームページ上でもオンライン作品集として公開しております。

ぜひ展示会場やホームページ上でエピソードをご覧ください、その感想や福祉現場に対する思いやメッセージ等のコメントをお寄せください。

本会ホームページ QR コード→
URL <https://www.f-shakyo.or.jp/>



ふくいチャリティー・アート展を開催します

来る12月18日（土）～20日（月）、福井市にぎわい交流施設「ハピリンホール」において、「第10回ふくいチャリティー・アート展」を開催します。

この事業は、本県にゆかりのある名士・作家の方から寄贈された書・絵画・版画・陶芸品などを展示し、県民に入札にて頒布するもので、その収益は、子どもの健全育成自立支援に向けた「子ども未来支援事業」の財源として活用させていただきます。

また今回は、今年開催された東京オリンピックで活躍された県勢選手から協賛いただいたものも展示・頒布します。

ぜひ大勢の方にご来場いただきますようお願いいたします。



基本目標 1

社会的孤立を生まない
地域づくり

5つのチャレンジ①

子どもの貧困・貧困の連鎖
をなくすための取組み強化

関連する SDGs ゴール



第 68 回福井県社会福祉大会をオンラインで配信

去る 10 月 23 日（土）、福井県生活学習館（ユウ・アイふくい）にて、第 68 回福井県社会福祉大会を開催しました。

大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出席者を受賞区分ごとの代表者 7 名に限定し、他の受賞者や社会福祉関係者等には、YouTube でのオンラインライブ配信を視聴いただく形での開催としました。

まず、社会福祉の様々な分野やボランティア活動で長年活躍され、その発展や向上に寄与された 293 人と 14 団体の方々に、その功労を称える表彰が行われました。その後、受賞代表者 7 名の方へのインタビューも行われました。

引き続き行われた記念講演では、お笑いコンビ「髭男爵」の山田ルイ 53 世氏から、ひきこもりをテーマにご講演いただきました。講演では、学生時代にご自身がひきこもりになった状況やその時の気持ち、また、人生が常にキラキラと輝いている必要はないのでは、という投げかけを笑いを交えて楽しくお話いただきました。

表彰式やインタビューの様子は、現在、本会 YouTube チャンネルでもご覧いただけます。



表彰式の様子



記念講演会の様子

ひきこもりの状態にある方への支援に向けて

本会の第 5 期中期活動計画では、チャレンジテーマとして「ひきこもり・8050 問題への理解促進と支援の輪づくり」を掲げ、主に社会の理解促進と支援者の支援に向けて取り組んでいます。

11 月 15 日（月）、ひきこもりの方の支援に取り組む方等を対象に、「ひきこもり支援者セミナー」を開催しました。

ひきこもり問題の世界的な第一人者である筑波大学の斎藤 環氏からオンラインによりご講義をいただきました。ひきこもりの状態になる背景や基本的な関わり方、対話の重要性、家庭内暴力への対応方法等、具体的なお話をいただきました。

福祉、行政、教育、市民活動といった、様々な形でひきこもりの方やご家族への支援に取り組む方が課題を共有し、今後の支援に向けて共に学びました。

本セミナーの様子は、本会 YouTube チャンネルでも配信しています。



オンラインで行われたセミナー

基本目標 1

社会的孤立を生まない
地域づくり

基本目標 2

地域と福祉を支える
担い手づくり

5 つのチャレンジ②

ひきこもり・8050 問題への
理解促進と支援の輪づくり

関連する SDGs ゴール



本会 YouTube チャンネル
QR コード



URL

https://www.youtube.com/channel/UCE_veyBblW2b6T0-6Hq0xvQ

福井県災害派遣福祉チーム（福井DWA T）発足

災害派遣福祉チーム（DWA T）は、社会福祉士や介護福祉士等の福祉専門職で構成され、大規模な災害等が発生した際、一般避難所等で配慮が必要な避難者を支援するもので、本年 10 月末までに全国 39 府県で設置されています。

福井県においても、令和 2 年度に DWA T の推進団体となる「福井県災害福祉支援ネットワーク協議会」が県、17 市町、本会、14 の福祉関係団体の構成で設立。今後、本会は DWA T チーム員の登録・研修・派遣にかかる事務局業務を担っていきます。

去る 10 月 29 日（金）、チーム員の登録研修となる「福井 DWA T ビギナー研修」を開催し、県内の福祉施設・社協職員等 30 名が受講し初期チーム員として登録されました。また、発足報告会が 11 月 11 日（木）に県庁で開催され、公式ユニフォームやロゴマークも併せて披露されました。11 月 13 日（土）には、県総合防災訓練の中で、避難所での福祉的支援活動を想定した実地訓練も実施しています。



11 月 11 日（木）に開催された報告会の様子

J C 福井ブロック協議会と災害時協力協定を締結

去る 10 月 4 日（月）、公益社団法人日本青年会議所（JC）北陸信越地区福井ブロック協議会と本会との間で「災害時における相互協力に関する協定」を締結しました。

調印式では、協定締結に至る経緯を説明したあと、福井ブロック協議会の見谷頼貞会長と県社協の小藤幸男会長が協定書に署名・捺印し、相互に協定を取り交わしました。

今年 1 月に全国社会福祉協議会と日本青年会議所との間で同様の協定が締結され、県域での連携強化が求められていたことから今回の協定が実現しました。協定は、県内での災害を想定し、県社協からの要請をもとに、福井ブロック協議会が対応可能な支援策を検討のうえ、復興支援活動や災害ボランティアセンター運営への人的・物的支援を行うこととしています。



協定書を取り交わす小藤会長（左）と見谷会長（右）

協定では、災害時に限らず、平時から情報交換の機会を設けるほか、災害支援に関する研修、訓練等への相互参加を行うことなども規定しており、普段からのつながりを強めていくこととしています。今後は市町域でも同様の協定締結が広がっていくことが期待されています。

基本目標 2

地域と福祉を支える
担い手づくり

基本目標 4

新たな課題に取り組む組
織・ネットワークづくり

5 つのチャレンジ⑤

災害時福祉救援体制の
強化

関連する SDGs ゴール



保育のお仕事職場説明・面談会の開催

基本目標 2

地域と福祉を支える
担い手づくり

関連する SDGs ゴール



県保育人材センターでは、保育所等の求人担当者から施設の魅力や採用の情報等についての話を聞くことができる「保育のお仕事職場説明・面談会」を、10月30日（土）、県産業会館本館展示場にて開催しました。

当日は、潜在保育士や高校生を対象としたセミナーも開催し、保育の現場への復職を考えている方への就労支援や、これからの保育人材として期待される若年層への理解促進を図りました。

本センターでは、保育人材の確保に向け、潜在保育士の発掘・確保、若年層への保育の仕事に対する理解促進に向け、今後も各種事業に取り組んでまいります。



職場説明・面談会の様子

〔参加事業所数〕 30事業所

〔参加者数〕 延べ51名

コロナ禍の生活福祉資金特例貸付の状況について

基本目標 3

制度の狭間を生まない
包括的支援体制づくり

関連する SDGs ゴール

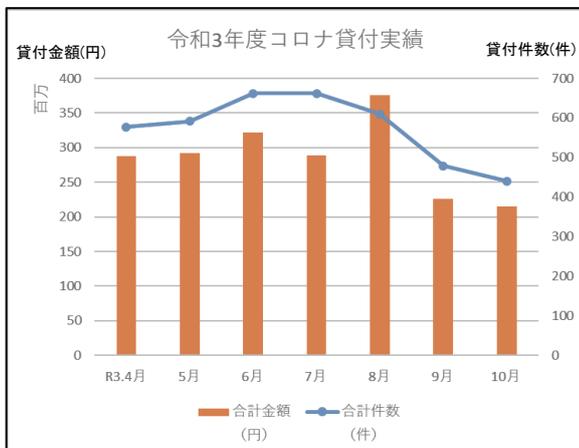


新型コロナウイルス感染拡大の影響は依然として甚大で、経済への影響が大きく、多くの企業や店舗が休業や業務縮小を余儀なくされ、現在でも一人ひとりの生活に深刻な影響を与えています。

このような方への支援策の一つとして、本県でも昨年 3 月 25 日から新型コロナウイルス感染症の影響で生活に困窮している方を対象に、生活福祉資金の特例貸付制度を実施してきました。

本特例貸付は、受付期間の延長が 7 回繰り返され、総合支援資金（延長、再貸付）を除き、令和 4 年 3 月末まで受付することになりました。

生活困窮者への支援は引き続いて求められており、本会はこの事業や他の事業も含め、行政等関係機関と連携しながら取り組んでいきます。



【令和3年度貸付実績】（10月末現在）

○緊急小口資金 263,900 千円（延 1,370 件）

○総合支援資金 1,322,630 千円（延 2,652 件、
延長・再貸付含）

次回のアクションレポートは、
令和4年3月に発行予定です。

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会
総務企画課

〒910-8516 福井市光陽 2 丁目 3-22

電話番号:
0776-24-2339

FAX 番号:
0776-24-8941

電子メール:
somu@f-shakyo.or.jp